

第5章

資料編

👉 1 第3章掲載区分一覧……216

👉 2 第4章掲載事業一覧……217

👉 3 SDGs ……………222

👉 4 用語解説……………226

Ⅰ 第3章「計画の柱」掲載区分一覧

柱 1 健康維持・感染症対策			
区分		ページ	部局名
1	医療機関等における感染症対策への支援	40	健康政策部
2	区民を感染症から守るための対策	41	企画経営部 総務部 健康政策部
3	健康維持・スポーツ推進に向けた取組	42	スポーツ・文化・国際都市部 福祉部 健康政策部 都市基盤整備部
柱 2 大規模自然災害対策			
区分		ページ	部局名
1	本部体制の強化と情報発信	44	総務部 地域力推進部 まちづくり推進部
2	避難所等の充実	46	総務部 区民部 福祉部 こども家庭部
3	地域防災機能の強化	47	総務部 福祉部
4	治水対策の推進	48	健康政策部 都市基盤整備部
5	災害に強いまちづくりの推進	48	まちづくり推進部
柱 3 生活支援策			
区分		ページ	部局名
1	相談・支援の推進	50	スポーツ・文化・国際都市部 福祉部 まちづくり推進部
2	ポストコロナ時代の地域活動支援	51	地域力推進部 福祉部
柱 4 経済活動支援策			
区分		ページ	部局名
1	経済回復に向けた、地域の産業を支える取組	53	産業経済部 まちづくり推進部
2	ポストコロナ時代における地域産業の発展に向けた取組	54	産業経済部
柱 5 学びの保障・子どもの生活応援			
区分		ページ	部局名
1	いつでもどこでも質の高い学びを提供できる環境の整備	56	教育総務部
2	子ども及び子育て家庭の生活支援	57	福祉部 こども家庭部
3	子どもへの虐待の未然防止	58	健康政策部 こども家庭部
柱 6 新たな自治体経営へのシフト			
区分		ページ	部局名
1	経営改革の推進	59	企画経営部 総務部 空港まちづくり本部
2	情報化の推進	60	企画経営部

2 第4章「施策と重点事業」掲載事業一覧

・事業費は令和4年度当初予算を計上しています。

基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち

個別目標1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします

施策1-1-1 安心して子どもを産み育てられるまちをつくります

事業名	事業費	ページ	部局名
妊婦等への支援の充実	513,970千円	68	健康政策部
産後の早期子育て支援の推進	249,594千円	69	健康政策部
子育て相談体制の拡充	99,505千円	70	こども家庭部
子どもの発達支援の充実	449,868千円	71	福祉部
児童虐待リスクの早期発見	665千円	72	健康政策部 こども家庭部
(仮称)大田区子ども家庭総合支援センターの整備	69,761千円	73	こども家庭部
子どもの生活応援	25,274千円	74	福祉部

施策1-1-2 子どもを健やかに育む場を整備します

事業名	事業費	ページ	部局名
良質な保育環境の維持・向上	26,810,703千円	78	こども家庭部
保育人材の確保、保育の質の向上	1,829,103千円	79	こども家庭部
区立保育園等の改築・改修	—	80	こども家庭部
安全・安心な放課後の居場所づくり	3,734,044千円	80	こども家庭部 教育総務部
在宅子育て支援事業等の拡充	227,678千円	81	こども家庭部

施策1-1-3 豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る子どもを育成します

事業名	事業費	ページ	部局名
ICT*教育の推進	3,248,810千円	84	教育総務部
未来社会を創造的に生きる力の育成	285,466千円	85	教育総務部
学校教育環境の整備	5,368,918千円	86	教育総務部
個に応じた学びの支援	419,777千円	87	教育総務部
【柱5】学びの保障・子どもの生活応援	158,400千円	88	教育総務部

個別目標1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります

施策1-2-1 健康に暮らせるまちをつくります

事業名	事業費	ページ	部局名
地域医療連携の推進(在宅医療支援体制の強化)	29,728千円	91	健康政策部
健康危機管理体制の強化(※1)	4,999,229千円	92	企画経営部 総務部 健康政策部
みんなの健康づくり	74,812千円	94	健康政策部
受動喫煙防止対策の推進	88,317千円	95	健康政策部 環境清掃部
国民健康保険データヘルス計画に基づく保健事業の推進	58,960千円	96	区民部
東京都後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療データヘルス計画に基づく保健事業の推進	440,962千円	97	区民部

※1 区報に係る事業費については、3-3-1「区政情報発信の充実」で計上しています。

施策 1-2-2 誰もが社会的包摂の中で、安心して暮らせるまちをつくります

事業名	事業費	ページ	部局名
障がい者総合サポートセンター（さぽーとぴあ*）の運営・充実	939,763 千円	100	福祉部
地域生活支援拠点等の機能の充実	876,054 千円	101	福祉部
精神障がい者に対する支援の充実	16,324 千円	102	健康政策部
複合課題を抱える世帯への包括的支援	21,242 千円	103	地域力推進部 福祉部 健康政策部 こども家庭部 教育総務部
福祉人材の確保・育成・定着	16,842 千円	104	福祉部
ユニバーサルデザインに配慮したサービス等の改善	290 千円	105	福祉部 まちづくり推進部
だれもが円滑に移動できるまちづくり	12,428 千円	106	まちづくり推進部
生活困窮者自立支援事業の実施	799,232 千円	107	福祉部
生きづらさを抱える人への支援	35,551 千円	108	福祉部 健康政策部
（仮称）大田区子ども・若者総合相談体制及び居場所の整備	42,074 千円	109	地域力推進部
多様な人々が活躍できるまちづくり	9,806 千円	110	総務部

施策 1-2-3 学びやスポーツを通じて、誰もが生きがいをもって暮らせるまちをつくります

事業名	事業費	ページ	部局名
生涯学習の推進	8,267 千円	113	地域力推進部
図書館を活用した学習環境の整備・展開	277,939 千円	114	教育総務部
地域の歴史・文化資源の活用	203,849 千円	115	スポーツ・文化・国際都市部
スポーツ施設の整備・充実	651,125 千円	116	地域力推進部 スポーツ・文化・国際都市部 都市基盤整備部
区民のスポーツ実施率を上げる環境整備	11,565 千円	117	スポーツ・文化・国際都市部

個別目標 1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります

施策 1-3-1 高齢者の安全・安心な暮らしと活躍を支えます

事業名	事業費	ページ	部局名
高齢者の就労促進・地域活動の支援	173,100 千円	120	福祉部
高齢者が元気に過ごすための事業の充実	750,970 千円	121	福祉部
多様な主体が参画する地域づくりの支援	220,152 千円	122	福祉部
見守り体制の強化・推進	9,545 千円	123	福祉部
地域共生社会*を見据えた地域生活を支える相談・支援体制の強化（※2）	1,176,707 千円	124	福祉部
共生と予防を軸とした認知症の人や家族への支援	50,797 千円	125	福祉部
多様なニーズに対応した介護サービスの提供・介護施設等整備支援	295,170 千円	126	福祉部
高齢者等の権利擁護・個人の尊重	91,777 千円	127	福祉部

※2 地域包括支援センターの機能強化（適正配置）に係る事業費については、3-3-1「公共施設マネジメントの推進」で計上しています。

基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-1 魅力と個性にあふれ、利便性が高く賑わいと活力あるまちをつくります

事業名	事業費	ページ	部局名
蒲田駅周辺のまちづくり	813,221 千円	130	まちづくり推進部 鉄道・都市づくり部 都市基盤整備部
大森駅周辺のまちづくり	112,765 千円	131	鉄道・都市づくり部 都市基盤整備部
身近な地域の魅力づくり	220,851 千円	132	まちづくり推進部 鉄道・都市づくり部 都市基盤整備部
20年後の未来を見据えたまちづくり基本方針の検討	9,686 千円	133	まちづくり推進部
新空港線*の整備推進	183,238 千円	134	鉄道・都市づくり部
都市計画道路の整備	843,467 千円	135	まちづくり推進部 都市基盤整備部
自転車等利用総合対策の推進	224,948 千円	136	都市基盤整備部

施策 2-1-2 身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまちをつくります

事業名	事業費	ページ	部局名
大田区緑の基本計画グリーンプランおたの推進	23,990 千円	139	まちづくり推進部
拠点公園・緑地の整備	792,073 千円	140	都市基盤整備部
地域に根ざした公園・緑地の整備	454,227 千円	141	都市基盤整備部
地域力を活かしたみんなのみどりづくり	14,972 千円	142	都市基盤整備部
呑川水質浄化対策の推進	2,698,586 千円	143	都市基盤整備部 環境清掃部
散策路の整備	94,663 千円	144	都市基盤整備部

施策 2-1-3 災害に強く、安全で安心して暮らせるまちをつくります

事業名	事業費	ページ	部局名
倒れないまちづくりの推進	1,306,164 千円	147	まちづくり推進部
燃えないまちづくりの推進	280,947 千円	148	まちづくり推進部
がけ崩れ災害の防止	13,515 千円	149	まちづくり推進部
地域の道路整備	963,568 千円	149	まちづくり推進部
安全で快適な住環境の確保	164,766 千円	150	まちづくり推進部
無電柱化の推進	265,067 千円	151	都市基盤整備部
橋梁*の耐震性の向上	580,185 千円	152	都市基盤整備部
都市基盤施設の維持管理の推進	2,341,973 千円	153	都市基盤整備部
交通安全の推進	152,747 千円	154	都市基盤整備部
水防活動拠点の整備	349,743 千円	155	都市基盤整備部

個別目標 2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2-2-1 空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまちをつくります

事業名	事業費	ページ	部局名
HANEDA GLOBAL WINGSのまちづくり	824,515 千円	158	産業経済部 空港まちづくり本部
空港臨海部の魅力向上と活性化	6,139 千円	159	まちづくり推進部
空港臨海部交通ネットワークの拡充	12,670 千円	160	まちづくり推進部

施策 2-2-2 「国際都市おおた」の推進により、持続可能な国際交流・多文化共生を育みます

事業名	事業費	ページ	部局名
「国際都市おおた」の推進	1,627 千円	163	スポーツ・文化・国際都市部

個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します

施策 2-3-1 地域に好循環をもたらす、大田区ならではの産業の発展を支援します

事業名	事業費	ページ	部局名
工場の立地・操業環境の整備	1,121,292 千円	166	産業経済部
新製品・新技術開発の支援	76,546 千円	167	産業経済部
取引拡大の支援	102,357 千円	168	産業経済部
商いの活性化、魅力の発信	271,328 千円	169	産業経済部
創業*支援(※3)	19,901 千円	170	産業経済部
ネットワーク形成支援	97,361 千円	171	産業経済部
多様な産業の持続的な発展に向けた人材育成・事業承継・危機管理等	76,052 千円	172	産業経済部
【柱4】経済活動支援策	1,665,880 千円	173	産業経済部

施策 2-3-2 大田区の魅力を国内外にアピールします

事業名	事業費	ページ	部局名
シティプロモーション*の推進	22,413 千円	176	企画経営部 産業経済部
来訪者等受入環境整備	67,735 千円	177	産業経済部
観光まちづくりの支援と多様な主体と連携したにぎわいの創出	55,679 千円	178	産業経済部

※3 創業支援施設に係る事業費については、2-3-1「工場の立地・操業環境の整備」で計上しています。

基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち

個別目標 3-1 地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します

施策 3-1-1 地域力を結集し、魅力的で住み続けたいまちをつくります

事業名	事業費	ページ	部局名
区民協働*の推進	5,899 千円	181	地域力推進部
しなやかな地域づくりの推進	59,821 千円	182	地域力推進部
多文化共生*の推進	43,445 千円	184	スポーツ・文化・国際都市部

施策 3-1-2 地域力を最大限発揮して、災害に強く、防犯力の高い地域をつくります

事業名	事業費	ページ	部局名
災害時相互支援体制の整備	15,397 千円	188	総務部
災害ボランティアの育成・支援	6,214 千円	189	地域力推進部
災害への備えの充実	134,675 千円	190	総務部 福祉部 こども家庭部
避難場所等の拡充	9,802 千円	191	総務部 区民部 福祉部 こども家庭部
災害時医療体制の整備と周知	24,640 千円	192	健康政策部
地域防犯活動の支援	61,159 千円	193	総務部 地域力推進部
防犯啓発活動	7,725 千円	194	総務部 都市基盤整備部
【柱2】大規模自然災害対策	43,239 千円	195	企画経営部 総務部 地域力推進部 福祉部 健康政策部 まちづくり推進部

個別目標 3-2 私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です

施策 3-2-1 持続可能な地球環境をみんなで守り、未来へ引き継ぎます

事業名	事業費	ページ	部局名
大田区環境基本計画の改定	10,887 千円	199	環境清掃部
脱炭素ライフスタイルへの転換	7,159 千円	200	環境清掃部
区による率先行動	4,757 千円	201	環境清掃部
3R+Renewable の推進	106,773 千円	202	環境清掃部
さらなるごみの適正処理推進	2,731,087 千円	203	環境清掃部
まちを彩りこころを潤す緑事業	7,302 千円	204	環境清掃部

個別目標 3-3 区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます

施策 3-3-1 質の高い区民サービスを提供する、持続可能な区役所をつくります

事業名	事業費	ページ	部局名
区政情報発信の充実	251,697 千円	207	企画経営部
多様な主体との連携・協働*による区民サービスの向上	11,681 千円	208	企画経営部
信頼される行財政運営の推進	88,056 千円	209	企画経営部 総務部
職員能力の強化	15,635 千円	210	総務部
公共施設マネジメントの推進(※4)	1,166,339 千円	211	企画経営部
自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション)*の推進	27,335 千円	213	企画経営部 総務部

※4 学校施設に係る事業費については、1-1-3「学校教育環境の整備」で計上しています。

3 SDGsの17目標と本計画の事業との関係

・各事業がSDGsのどのゴールにつながっているかを一覧で示しています。主としてつながるゴールに◎を、副次的につながるゴールには○を付しています

	SDGs																
	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を達成しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう
I-1-1																	
妊婦等への支援の充実			◎														
産後の早期子育て支援の推進			◎													○	
子育て相談体制の拡充			◎														
子どもの発達支援の充実			◎	○													
児童虐待リスクの早期発見		○	○	○						○						◎	
(仮称)大田区子ども家庭総合支援センターの整備			○	○						○	○					◎	
子どもの生活応援	◎		○	○						○							○
I-1-2																	
良質な保育環境の維持・向上			◎		○												
保育人材の確保、保育の質の向上			◎		○												
区立保育園等の改築・改修			◎														
安全・安心な放課後の居場所づくり			◎	○	○												
在宅子育て支援事業等の拡充			◎		○											○	
I-1-3																	
ICT*教育の推進				◎													
未来社会を創造的に生きる力の育成				◎												○	
学校教育環境の整備				◎				○		○							
個に応じた学びの支援				◎						○							
I-2-1																	
地域医療連携の推進(在宅医療支援体制の強化)			◎														
健康危機管理体制の強化			◎														
みんなの健康づくり			◎														
受動喫煙防止対策の推進			◎								○						
国民健康保険データヘルス計画に基づく保健事業の推進			◎														
東京都後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療データヘルス計画に基づく保健事業の推進			◎														
I-2-2																	
障がい者総合サポートセンター(さぽーとぴあ*)の運営・充実			◎	○					○		○						
地域生活支援拠点等の機能の充実			◎							○	○						
精神障がい者に対する支援の充実			◎							○							
複合課題を抱える世帯への包括的支援	○	○	◎														

福祉人材の確保・育成・定着			◎					○		○							
ユニバーサルデザインに配慮したサービス等の改善			○							◎							
だれもが円滑に移動できるまちづくり										◎	○						
生活困窮者自立支援事業の実施	◎	○	○	○				○		○	○						
生きづらさを抱える人への支援	○		◎							○							
(仮称)大田区子ども・若者総合相談体制及び居場所の整備			◎														
多様な人々が活躍できるまちづくり			○	○	◎			○		○							
1-2-3																	
生涯学習の推進				◎													
図書館を活用した学習環境の整備・展開				◎							○						
地域の歴史・文化資源の活用				◎							○						
スポーツ施設の整備・充実			◎	○													
区民のスポーツ実施率を上げる環境整備			◎	○													
1-3-1																	
高齢者の就労促進・地域活動の支援	○		○					◎									
高齢者が元気に過ごすための事業の充実			◎														
多様な主体が参画する地域づくりの支援			○														◎
見守り体制の強化・推進			◎								○						○
地域共生社会*を見据えた地域生活を支える相談・支援体制の強化			◎							○	○						
共生と予防を軸とした認知症の人や家族への支援			◎							○	○						
多様なニーズに対応した介護サービスの提供・介護施設等整備支援			◎								○						
高齢者等の権利擁護・個人の尊重	○		○							◎							○
2-1-1																	
蒲田駅周辺のまちづくり								○		○		◎		○			○
大森駅周辺のまちづくり								○		○		◎		○			○
身近な地域の魅力づくり								○		○		◎		○			○
20年後の未来を見据えたまちづくり基本方針の検討								○		○		◎		○		○	○
新空港線 ¹ の整備推進										○		◎					○
都市計画道路の整備	○									○		◎		○			
自転車等利用総合対策の推進			○									◎					
2-1-2																	
大田区緑の基本計画グリーンプランおたの推進			○									◎		○	○	○	
拠点公園・緑地の整備			○									◎		○	○	○	○
地域に根ざした公園・緑地の整備			○									◎		○		○	
地域力を活かしたみんなのみどりづくり												◎				○	○
呑川水質浄化対策の推進							○					◎		○			
散策路の整備			○									◎				○	

	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を達成しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう
2-1-3																	
倒れないまちづくりの推進	○								○		◎		○				
燃えないまちづくりの推進	○								○		◎		○				
がけ崩れ災害の防止	○								○		◎		○				
地域の道路整備	○							○	○		◎						
安全で快適な住環境の確保	○					○	○	○			◎		○				
無電柱化の推進	○							○			◎		○				
橋梁*の耐震性の向上	○							○			◎		○				
都市基盤施設の維持管理の推進	○							○			◎		○				
交通安全の推進			○								◎						
水防活動拠点の整備	○							○			◎		○				
2-2-1																	
HANEDA GLOBAL WINGSのまちづくり							○	○	◎		○		○				○
空港臨海部の魅力向上と活性化							○	○	◎		○		○		○		
空港臨海部交通ネットワークの拡充									◎		○						
2-2-2																	
「国際都市おおた」の推進										○							◎
2-3-1																	
工場の立地・操業環境の整備								○	◎								
新製品・新技術開発の支援								◎	○								
取引拡大の支援								◎	○								
商いの活性化、魅力の発信	○							◎	○								
創業*支援	○							◎	○								
ネットワーク形成支援								○	◎								
多様な産業の持続的な発展に向けた人材育成・事業承継・危機管理等				○				◎	○								
2-3-2																	
シティプロモーション*の推進								◎									
来訪者等受入環境整備								◎									
観光まちづくりの支援と多様な主体と連携したにぎわいの創出								◎									
3-1-1																	
区民協働*の推進				○													◎
しなやかな地域づくりの推進				◎													
多文化共生*の推進	○			○						◎							○

3-1-2																		
災害時相互支援体制の整備	○											○	◎		○			
災害ボランティアの育成・支援	○												◎		○			
災害への備えの充実	○												◎		○			
避難場所等の拡充	○										○	◎		○				
災害時医療体制の整備と周知	○		○										◎		○			
地域防犯活動の支援																	◎	
防犯啓発活動	○																◎	
3-2-1																		
大田区環境基本計画の改定													○	○	◎		○	○
脱炭素ライフスタイルへの転換							○							○	◎			
区による率先行動							○							○	◎			
3R+Renewable の推進														◎	○	○		
さらなるごみの適正処理推進														◎	○	○		
まちを彩りこころを潤す緑事業															○	○	◎	
3-3-1																		
区政情報発信の充実																		◎
多様な主体との連携・協働 [*] による区民サービスの向上																		○ ◎
信頼される行財政運営の推進									○									◎
職員能力の強化				○					○									◎
公共施設マネジメントの推進						○				○			◎	○	○			
自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション) [*] の推進											◎							○

4 用語解説

(あ～)

アウトリーチ支援	精神障がい者の地域生活の安定化を目指して、保健師・精神保健福祉士等の多職種がチームを組んで行う訪問型支援。
青色回転灯車	自主防犯パトロールを実施するために青色回転灯を装備した車両。青色回転灯を装備して防犯パトロールを実施するには警視庁(警視総監)の証明を要する。
一時預かり保育	保育者の用事やリフレッシュなど、理由を問わずに利用できる保育事業。
インセンティブ	人や組織に対して行動を促す動機づけ。
ウェルカムショップ	外国人が安心して大田区内で飲食・買い物・観光・宿泊できる店舗・宿泊施設等。
オフィス製紙機	オフィス内で使用済の紙を原料として、文書情報を完全に抹消した上で新たな紙を生産できる製紙機。

(か～)

街渠 <small>がいきよ</small>	舗装された道路の雨水が流れ込む排水用の側溝。
(仮称) 公民連携プラットフォーム	企業や大学等の多様な主体と、複雑化・多様化する地域課題の解決に向けたアイデアや行動を議論するための開かれた場。シンポジウム(意見交換会)やフォーラム(公開討論会)などの形態で実施する。
家庭福祉員事業	区が認定する、保育士等の有資格者で保育経験がある人、もしくは子育て経験のある人が、保護者との委託契約で生後43日から2歳未満の子どもを預かる制度。通称「保育ママ」といい、自宅又はグループ保育室(自宅を提供しての保育が困難な家庭福祉員が、複数で自宅以外の同じ施設を使用し保育を行う事業)で家庭的保育を実施する。
蒲田駅まちマネジメント	区と関係鉄道事業者等が、情報共有や連携したまちづくり活動を重ね、蒲田駅・京急蒲田駅周辺の地域特性にあったエリアマネジメントを目指す取組。
企業者支障移設工事	道路整備工事等を行う際に、工事の支障となる地中埋設管(水道管、下水道管、ガス管など)等の既存施設を事前に移設する工事。
旧清明文庫 <small>きゅうせいめいぶんこ</small>	関東大震災の復興期に、勝海舟の精神を基本に置きながら、図書の収集閲覧、学習、人材育成としての講義などを行う場として財団法人清明会が設置したもの。平成24年(2012年)に区が取得。
旧耐震基準	昭和56年6月1日の建築基準法の耐震基準の見直しより前に用いられていた耐震基準。
協働	区民をはじめ自治会・町会*、団体・NPO*、事業者及び区が共通の目的を持って、相互に自主性を尊重しつつ、それぞれが持つ知識、技術などの資源を提供し合い、協力して取り組むこと。
共同化事業	複数の宅地を一つの宅地(敷地)にまとめて建物を整備し、複数の権利者が一体的に建物を利用する事業。
橋梁 <small>きょうりょう</small>	河川や道路、鉄道、運河などをまたぐ橋。
緊急医療救護所	区内で震度6弱以上の地震が発生した場合、発災直後から概ね72時間までの間、災害拠点病院*等病院の敷地内等に開設し、地域医療関係者と連携してトリアージと軽症者の治療を行う。
クラウド	コンピューターの利用形態の一つで、事業者が保有するシステムの一部をインターネット経由で利用するサービス。
グリーンインフラ	社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進めること。
軽症者救護所	区内で震度6弱以上の地震が発生した場合、発災直後から概ね72時間までの間、学校の敷地内等に開設し、地域医療関係者と連携してトリアージと軽症者の治療を行う。

健康経営®	特定非営利法人健康経営研究会の登録商標。経営的視点から、企業や事業所が従業員の健康づくりに取り組むこと。
健康遊具	健康維持、体力向上を目的として、公園など身近な場所に設置する遊具。
公共溝渠 <small>こうきょうこうきょ</small>	給排水を目的として造られた水路のうち溝状のもので、護岸などの附属施設を含め、一般公共の用に供されているもの。
交通結節点	異なる（又は同じ）交通機関が相互に連絡し、乗り換えや乗り継ぎができる駅などの場所。
高濃度酸素水浄化施設	通常よりも多くの酸素を溶かし込んだ水を、酸素量が少ない川底付近に流すことで酸素量を増加させ、水質を浄化する施設。
後発医薬品	先発医薬品と同一の有効成分を同一量含み、同一経路から投与する製剤で、効能・効果、用法・用量が原則的に同一であり、先発医薬品と同等の臨床効果・作用が得られる医薬品。ジェネリック医薬品ともいう。
合流改善貯留施設	雨の降り始めの特に汚れた下水を一時的に貯留し、河川などの公共用水域へ放流される汚濁負荷量を削減するための施設。
コンテンツ	Webサイトで公開される個々の情報、Webページ。

(さ～)

災害拠点病院	主に重症者の収容・治療を行う都が指定する病院。
サテライトオフィス	企業又は団体の本拠から離れた所に設置されたオフィスのこと。
さぽーとぴあ	「大田区立障がい者総合サポートセンター」の愛称。障がいのある方を総合的に支援するための拠点として、相談窓口を設け、各機関と連携しながらさまざまな支援を行っている。
産業クラスター	新事業が次々と生み出されるような事業環境を整備することにより、競争優位性を持つ産業が核となって、広域的な産業集積が進む状態。ブドウの房を意味する「クラスター」が転じ、企業が特定の地域に集まることを意味するようになった。
三密	集団感染の発生リスクが高くなる「換気の悪い密閉空間」、「多数が集まる密集場所」、「間近で会話や発声をする密接場面」の3つの条件。
自治会・町会	住民が住んでいるその土地（地域）を仲立ちとして近隣関係にある住民が、お互いの助け合いと協力のもと住みよい環境をつくることを目的とし、自主的に結成する組織。
シティプロモーション	大田区の認知度の向上、地域経済の活性化及び区民の地元に対する愛着の醸成等を目的に、大田区ならではの多様な魅力を効果的に発信すること。
自転車走行環境	自転車道や自転車専用通行帯、自転車ナビマーク・ナビライン等の手法によって整備される自転車が走行する環境全般のこと。
シニアクラブ	老後の生活を健全で豊かなものにするため、ボランティア、健康の増進、生きがいを高めるための活動等を行う団体。
シビックプライド	まちへの「誇り」「愛着」「共感」をもち、自らまちのために関わっていかうとする気持ち。
社会貢献型後見人	弁護士等の資格を持たない一般市民による成年後見人、保佐人及び補助人。
周産期医療機関	妊娠後期から新生児早期（妊娠22週から出生後7日目まで）の母体、胎児、新生児を総合的に管理する医療機関。
受益者負担	特定のサービスを利用し、利益を受ける場合において、サービス利用者が受益者としてコストの一部を負担すること。
使用済小型電子機器	小型電子機器等（一般消費者が通常生活の用に供する電子機器その他の電気機械器具）のうち、その使用を終了したものをいう。具体的な品目は、政令で定められている。

新空港線	区内の東西交通の移動利便性向上、沿線まちづくりへの寄与、都心部等や東京圏北西部地域と羽田空港間のアクセス強化などが図られる鉄道路線（蒲田駅と京急蒲田駅の約800mをつなぐ路線）。
スカム	川底に溜まった沈殿物が水面に浮上した浮遊物質の塊。
スタートアップ試作支援	区内でものづくり系の創業*を目指し、かつ、試作品の製作を検討している方を対象として、区内企業訪問等を通じて創業に必要な知識を学びながら試作品の製作を支援する事業。
センターエリア	京急蒲田西口駅前地区第一種市街地再開発事業区域の西側に隣接するエリア（蒲田四丁目の一部）。
創業	新しく事業（ビジネス）を始めること。

（た～）

ダイバーシティ	「多様性」を意味し、性別、年齢、人種や国籍、障がいの有無、性的指向、宗教・信条、価値観などの属性が多様な状態、または集団においてその多様性を受け入れた包摂的な状態までを指す場合もある。
多文化共生	国籍や民族などが異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域の中でともに暮らしていくこと。
だれでも遊具（UD遊具）	障がいの有無に関わらず、子どもが安全に遊ぶことのできる遊具。
団塊世代・団塊ジュニア	●団塊世代・・・昭和22年（1947年）から昭和24年（1949年）生まれの人。 ●団塊ジュニア・・・昭和46年（1971年）から昭和49年（1974年）生まれの人。
地域共生社会	平成28年度6月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」において示された考え方で、高齢者・障がい者・子どもなどすべての人々が地域、暮らし、生きがいとともに創り、高め合うことができる社会のこと。
地域コミュニティ	地域における協働*意識を持った住民による社会。
地籍調査	土地の区画に対する所有者などを調査し、境界の位置と面積を測量する調査。
チャットボット	テキストや音声を通じて会話を自動的に行うプログラムのこと。
定期利用保育事業	毎日の利用のほか、利用者が預けたい曜日や保育時間（4時間以上）を柔軟に決められる保育事業。
デジタル・ガバメント	国・地方・民間が一体となり、組織等の各種縦割りを超えた「すぐ使えて」「簡単で」「便利」な利用者中心の電子自治体を目指すこと。
道路台帳	道路法により道路管理者の調製が義務付けられており、道路に関する基礎的な情報を図面と調書にまとめたもの。
土地区画整理事業	土地の区画形質の変更を行い、公共施設（道路・公園等）を整備することによって、「公共施設の整備改善」と「宅地の利用増進」を図ることを目的として行う事業。

（な～）

仲間まわし	例えば自分のところでは「切削」作業しかできなくても、「穴あけできる工場」「研磨ができる工場」といったように、近くの工場に工程をまわして、発注された製品を納品できる、工場集積を特徴とした大田区ならではのネットワーク。
認可保育園	児童福祉法に基づく児童施設で、建物や園庭の広さ、保育者の人数、保育時間などについて国が定めた基準を満たし、自治体によって認可された保育園。
認知症カフェ	認知症の人とその家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、お互いの理解を深め合うことができる集いの場。

(は～)

発達障がい	自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいなどの、通常低年齢で発現する脳機能の障がい。
避難行動要支援者	高齢者や障がいのある方など、災害が発生し、又は災害が発生する恐れがある場合に自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する人。
避難行動要支援者名簿	避難行動要支援者*について、本人の申請に基づき作成する名簿。平常時から避難支援等関係者に提供し、災害時における安否確認などの支援に備える。
不登校特例校	不登校児童・生徒の実態に配慮して特別に編成された教育課程に基づく教育を行う学校。文部科学大臣の指定により設置することができる。
不燃化特区制度	都内の木造住宅密集地域のうち、特に重点的・集中的に改善を図る地区として東京都から指定された地区について、区と東京都が連携し、不燃化を強力に推進して「燃え広がらない・燃えない」まちづくりを進める制度。
フリーアドレス	オフィスの中で固定の席を持たず、自分の好きな席で働くワークスタイルのこと。
ふれあい指導	清掃事務所の職員が、区民・事業者との対話を中心とするきめ細やかな「ふれあい」を大切にして行う、ごみの分別などの適正排出指導のこと。
ベンチャーピッチ in 羽田	交通、物流、ものづくり等の領域で創業*を目指す個人、創業後間もない企業を対象にしたセミナー・コーチング等支援事業。

(ま～)

マイクロツーリズム	自宅からおおよそ1時間圏内の地元や近隣への近距離観光のこと。
マイ・タイムライン	風水害の発生に備えて、自分自身の家族構成や生活環境に合わせて「いつ」「誰が」「何を」するのかをあらかじめ時系列で整理した避難行動計画。
まちかど観光案内所	観光マップ・パンフレットを配布したり、近隣の案内をしたりすることで、来訪者に情報提供をする店舗・宿泊施設等。
ものづくり創業スクール	区内でものづくり系の創業*を目指す方を対象として、座学形式のセミナーと起業を仮想体験するワークショップを実施する事業。

(や～)

やさしい日本語	簡易な表現を使い、日本語に不慣れな外国人など、だれにでもわかりやすくした日本語。
---------	--

(わ～)

ワーク・ライフ・バランス	誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる状態。
--------------	---

(A～)

AI	Artificial Intelligenceの略。人口知能のことをいい、判断や予測などの人間が行う知的な作業をコンピューター上で実現する技術。
AI-OCR	AI(Artificial Intelligence)-OCR(Optical Character)の略。手書きや印刷された文字を、イメージスキャナやプリンタ等で読み取り、コンピューターが利用できるデジタルの文字コードに変換する技術。
DX(デジタル・トランスフォーメーション)	デジタル技術の浸透により、人々の生活があらゆる面でよりよいものに変化していくこと。
ICT	Information(情報)やCommunication(通信)に関するTechnology(技術)の総称。

アイオーティー I o T	Internet of Things(モノのインターネット)。コンピューターなどの情報・通信機器だけでなく、様々なものがインターネットに接続され、相互に情報のやり取りをすること。
ITガバナンス	区における情報技術に関する戦略的・全庁的な統制。
JOBOTA	「大田区 生活再建・就労サポートセンター」の愛称。経済的に困窮し、生活、仕事や住まいのことなどさまざまな課題を抱えた方のための無料相談窓口。
マイス MICE	企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ*旅行(Incentive Travel))、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字で、多くの集客交流が見込めるビジネスイベントの総称。
エムエムエス MMS測量	3次元レーザー計測機とデジタルカメラによって、道路及び周辺の3次元座標データと連続映像を取得する計測装置を用いた測量方法。
NGO	Non-Governmental Organization(非政府組織)の略。平和・人権問題などで国際的な活動を行っている非営利の民間協力組織。
NPO	Non Profit Organization(特定非営利活動団体)の略。自発的、継続的に社会貢献活動を行う、営利を目的としない市民活動団体やボランティア団体。
PFI	Private Finance Initiativeの略。PPP*の代表的な手法の一つで公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るもの。
PPP	Public Private Partnershipの略。公民が連携して公共サービスの提供を行う手法のこと。
RPA	Robotics Process Automationの略。人間がコンピューターを操作して手作業で行っている事務処理を自動的に行うソフトウェア。
SIB	Social Impact Bondの略。民間資金を活用して革新的な社会課題解決型の事業を実施し、その事業成果を支払の原資とすることを指すもの。
STEAM 教育	Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Arts(人文社会・芸術・デザイン等)、Mathematics(数学)等の各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育。
UD	Universal Design(ユニバーサルデザイン)の略。あらかじめ障がいの有無、年齢、性別、国籍等に関わらず、多様な人々が利用しやすいように考えて、都市や生活環境をデザインすること。
UD/パートナー	ユニバーサルデザインの普及啓発、区の施設や道路等の調査点検や意見交換等を行うUDパートナー制度に登録した区民。

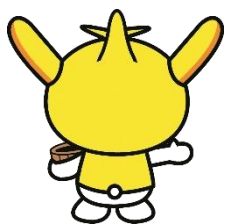


持続可能な OTA CHOICE

この「新おおた重点プログラム」は、再エネ100%の電力で使用済の紙を区役所内で再生したものです。

新おおた重点プログラム

～ポストコロナ時代の暮らしを支える区政運営に向けて～



令和2年度～5年度
(2020年度～2023年度)



©大田区

令和4年(2022年)3月

発行 大田区企画経営部

〒144-8621

東京都大田区蒲田5丁目13番14号

電話:03-5744-1735(直通)

FAX:03-5744-1502

<https://www.city.ota.tokyo.jp>
